

新潟県

平成3年

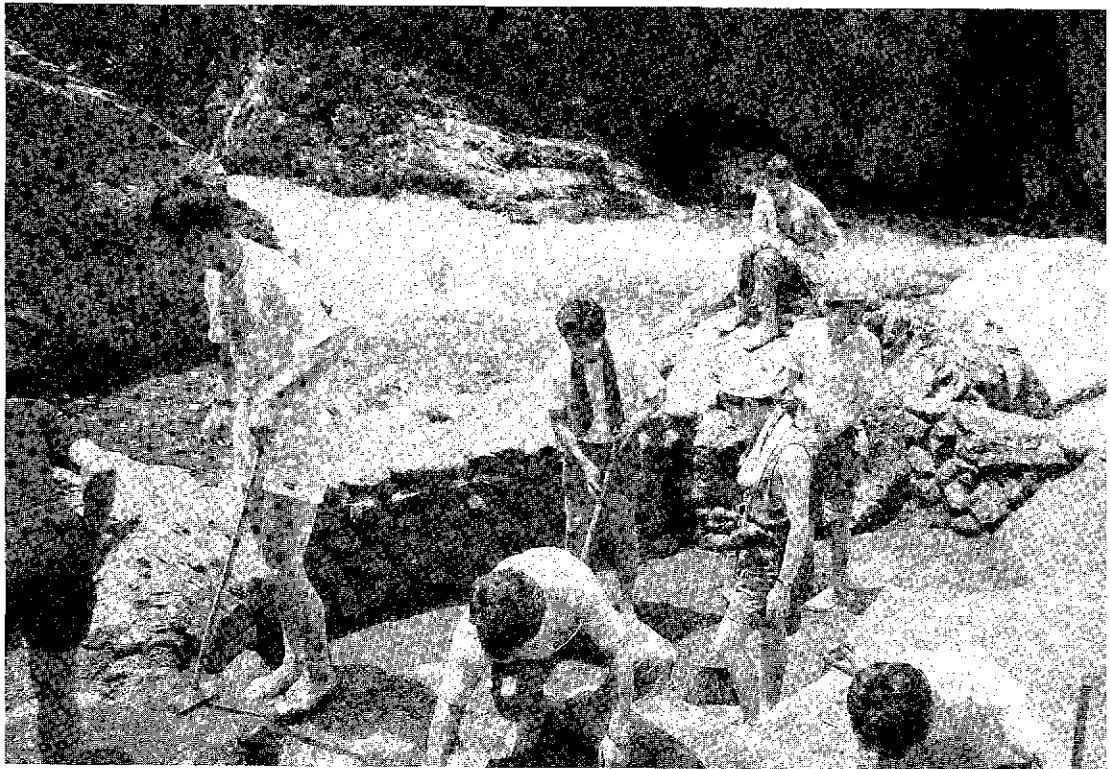
公民館月報

8月
第462号

シリーズ 県外の公民館に学ぶ (4)

この指止まれの公民館

千葉県海上町（うなかみまち）公民館



山は見ていた

山は見ていた

若者が多勢で何かしている
額に汗して動き回っている
土で覆われた泉が生き返える
若者たちは裸になつた
賑やかにはしゃいでいる
熊や猿がのぞいている
山は見ていた

ゴシゴシと一年分のアカを
洗い落とし

ピカピカに磨かれた湯溜りへ我
れ先と飛び込む

大自然の中の一番風呂だ

（詩 土田清一）
新発田市公民館

青春ひろば

湯の平温泉（新発田市赤谷口）
岩風呂を清掃中の公民館利用
グループ

（温泉の詳細説明は八面）

第2回理事会開催さる



受賞した柏崎市高浜公民館

優良公民館表彰は一館

永年勤続者表彰は十三人

表彰式は上・中・下越各ブロックで

今年度第二回理事会(委員会開催のため、理事全員が、去る七月十二日、湯沢町のカルチャーセンターを会場に開催された。これは、この日公民館職員と公運審委員の永年勤続者表彰候補の選考にあつた。

いづれも適合しており、この部門でも全員表彰することが決定した。(下表参照)
 ちなみに永年勤続者についての性別は男性8名、女性5名、職種別では公民館長(含む分館長)5名、職員6名、公運審委員5名となつている。

先に県下の公民館長から推薦のあつた、公民館一館、永年勤続者十三名について選考の結果その総べてを表彰することに決定した。

優良公民館として表彰を受けることになつたのは、柏崎市高浜公民館である。その優れた施設の整備状況ならびに活動の充実について表彰に値するものとして全員一致した意見であつた。



公振連総会 会長あいさつ

去る七月十日(水)、県公民館振興市町村長連盟総会が新潟市の平安園を会場に開催された。来賓に県生涯学習推進課長清水明氏、県市長会事務局長高井降之助氏、当県公連の正副会長木下・星野・遠藤三氏を迎えて開会した。

今年度は、会長をはじめ全役員任期満了に伴う改選の年であつたが、万場一致で現役員留任となつた。

また、重点事業として進めてきた「県生涯学習センター」の早期設置の陳情運動は、県教委の第六次総合教育計画として「生涯学習推進センター」設置が明示されたことにより、今後は内容整備への陳情となる模様である。

役員、全員留任

県公振連総会終わる

平成3年永年勤続表彰者一覧 新潟県公民館連合会

1	佐々木 芳 男	60	南蒲原郡中之島町公民館
2	成 沢 欽 吾	61	南蒲原郡中之島町公民館
3	渋谷 澄 夫	59	南蒲原郡栄町公民館
4	小 見 芳 栄	76	長岡市山本公民館
5	岩 崎 立 丸	74	長岡市十日町公民館
6	太 田 金 雄	73	五泉市公民館
7	小 林 兼 吉	70	西蒲原郡巻町公民館
8	金 子 須美子	63	西蒲原郡巻町公民館
9	岡 島 富美代	50	柏崎市比角公民館
10	黒 崎 純 子	48	柏崎市高田公民館
11	小 柳 由美子	43	柏崎市南鱒石公民館
12	原 公 明	70	三条市大島公民館
13	小 池 ヨ リ	73	出雲崎町公民館



ものという考え方に社会の流れが一般化してはまたまだ男は外、女は内と性別役割分業が強く、又一部の女性を

辛口

戦後民主主義の世の中に變化し、結婚もお互いの家柄や歴史にとらわれず二人だけの

平成3年度 新潟県公民館振興市町村長連盟役員

会 長	両津市長	伊豆野 壹 郎
副 会 長	新発田市長	近 寅 彦
副 会 長	青海町長	小 野 佳 一
理 事	豊栄市長	小 川 竹 二
理 事	中条町長	熊 倉 信 夫
理 事	山北町長	板 垣 突 弘
理 事	小千谷市長	小 出 熊 一
理 事	堀之内町長	真 鳥 春 雄
理 事	川西町長	南 雲 久 郎
理 事	新井市長	大 塚 長 右 門
理 事	糸魚川市長	木 島 谷 達 治
理 事	松代町長	関 部 直 之
監 事	村松町長	阿 部 山 桑
監 事	中之島町長	樋 山 桑 男

女性の自立と生涯学習

外 石 栄 子

法が立法化されて、女性の生き方もそれと変わって来ている。現代は情報化時代といわれ、女性性の時代といわれ、西暦二千年に向けて男

除いてはそれが女の辛口と考えている。国際婦人年を境に世界の女性達が性の前に人間であることを意識し、国連婦人の十年でわが国も男女雇用均等

公的学習機関である公民館での学習が、趣味的な講座や生活技術中心型でなく、人間の尊厳にもとずき、男女が共に学び生活できる社会形成に役立つ学習の場として生涯学習

生涯学習



青木 繁

青木 繁 青木 繁 青木 繁

ひるば

生涯学習が重視されてきたことは衆知の通りですが私はその中の絵画クラブに所属してあります。正直云ってこの町で絵をかくというムードは今でも殆んど感じられませんが、この絵画クラブには参加する人が二十名ちかくおりこれからもふえそうなのが喜ばしいです。年齢は二十歳台から七十五歳までの幅の広さです。勿論、自主的に参加するものですが、七十五歳の老人が新しいスケッチブックをもってやってきたのにはびっくりしました。この人は一つの事に感動して入ってきたのです。それは一本の木が風雪にもめげず立ちつづけているのは、人の目には見え

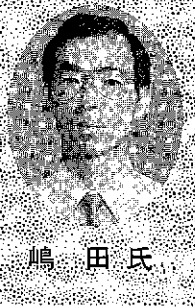
木の色を眺め春の花や夏の深い緑を憩いの場として喜び、秋の紅葉に心をなごませ、冬の落葉した木や枝に無常を感じ春を待っているのです。この表面的なものよりも見えないものを見ようとする努力を絵をかく事によって探ってみたいというのです。それからのこの老人は一日一枚のスケッチを目標にかいていきましたがまとまると見てくれといつては持つてきます。自分より若い人にものを聞くのはいやがる人の多い中で本当に感心させられます。私はこの老人の「老」は中国風に尊敬する人と思っておりますがこの謙虚で努力する姿の輪をどんどん広げていきたいと思っております。(岩船郡山北町公民館 運営審議委員)

公民館に学ぶ (4)

の公民館

とともに~

千葉県海上町公民館



嶋 田 氏

執筆者紹介

嶋 田 正 氏

千葉県海上町中央公民館

社会教育主事

昭和56年4月中央公民館開設以来公民館に勤務し現在に至る。

海上町の公民館事業に氏独自のユニークな発想による充実化のかたわら、昭和60年千葉県公民館研究委員会の結成とともに副委員長兼事務局局長に推され平成2年度まで就任。また、昭和60年度から63年度まで千葉県公連主事部会長(県公連理事)に就任するなど幅広く活躍。今年度から千葉県公連事務局長を兼任している。

一、はじめに

海上(うなかもみ)町は、千葉県東北部(銚子市に近接)に位置した小さな町です。標高50メートル余の畑作丘陵地帯と、5メートル程度の平坦な水田地帯とに二分されています。

基幹産業は農業で、全世帯の40%を占めています。人口は約一万一千人で、年間1%余りずつ増加しています。

二、公民館の概要

中央公民館は、その名の通り町のほぼ中央に昭和56年にオープンしました。しかし、他に地区館、分館が無く、今後の整備が課題となっています。平成2年度の利用者は、人口の約4倍に当たる四万四千余人余りです。これは近隣の市や町からの活発な利用者がいるせいでもあります。

当町には図書館がないため公民館図書室の利用が活発です。昨年度にパソコンシステムを導入し、図書の貸出し等の管理をパソコンで付けて実施しています。加えて小・中学校の図書室への図書の貸出しも始めました。パソコン導入の構想の中にはパソコン通信による学習情報の公開、学校と情報センターとの

オンライン化も目下進行中です。

職員体制は、館長、係長、社教主事(兼公民館主事)、主事、用務員の常勤5人と社会教育指導員、家庭教育指導員(ともに非常勤)の合計七人です。

主催事業とりわけ学級講座は当館事業の大きなウエイトを占めています。教室数は四三、単発事業も含めると六十事業にもなります。

内容的にも多彩で、各年齢層の多様な住民要求や必要課題に対応できるように計画をすすめております。

当館の事業は、近隣の市や町で開催されている事業も多いため、町外からの参加申込みがあり、参加を認めています。とい



総会は観桜とバーベキューで

うのは、今日の通学・通勤・買い物などの生活圏が行政区を超えて広がっていることから、町外より広い地域から「人が集まる町」を目指した公民館の姿勢と受け入れ体制を整えていることによるものです。そのため、町外から(しかも車で30分以上もかかるところを)公民館に集り熱心な人たちがいます。その人たちの熱意が町民の刺激となるとともに、町外の有能な人材が公民館活動を支えてくれるまでになっています。地域社会の活性化に大きな力になっていきます。

三、公民館友の会の結成

公民館の学級講座は、知識・教養・技能の向上・健康維持などそれぞれ狙いを持ち開設の意味はあるでしょうが、それだけならば民間の教育産業に任せておけばよいでしょう。公民館が「公的教育施設」と言われるにはそれなりの訳があるはずで

(1) 公民館の固定客

公民館の事業に関して、いわゆる「常連」と呼ばれる「いつもの顔」があります。一人でいくつもの事業に参加し、事務室の中にもどんどん入ってくる人たちです。そして、「あれ」「それ」で話の通じる人連であります。

(1) 平成2年度海上町中央公民館友の会 事業報告

期 日	事 業 名	会 場
5/7	総会(お好み焼き)	公民館
6/2~4	公民館まつり共催	公民館
6/8~9	親睦旅行	富士方面
8/3~5	第3回墨蹟展	公民館
11/2~4	第21回文化祭参加	公民館
11月	公民館シオリ作成(大会用)	公民館
11/14	千葉県公民館研究大会協力	公民館
12	水墨画カレンダー作成	公民館
1/12~15	第6回新春作品展	公民館

※水墨画指導(平野会長) コスモス手芸が恵天堂老ホームにボランティア活動実施

(2) 友の会の結成

公民館の常連は、実はその人たちこそ公民館の良き理解者であり協力者であることを認識する必要があります。当公民館の「公民館友の会(正式には公民館利用者連絡協議会)」は、そんな常連の「個人

公民館の中には、こうした人達を締め出そうとするところもあるようです。「一度教室に参加した者は同じ教室には参加できない」といった「きまり」で締め出すようです。しかし、利用者の一部が固定することは問題なのででしょうか。どこにでも顔を出す、いわば気心の知れた公民館の常連は大いに活用できる仲間であると思います。

シリーズ 県外の "この指止まれ!" ~公民館友の会

出席する人より、公民館に来ることを楽しみにしている個人の集団の方がはるかにバイタリテイがあります。

同じ公民館を利用しながら、自分達のグループの中だけで活動するのではなく、互いのすれ違いをなくすための会、公民館を楽しむ会が「友の会」です。会の結成は、常連さんと事務室でお茶飲み話(を)するほどヒマではないが、人が来れば忙しくとも相手をし、時には仕事の手伝いをさせてしまったりする)の中で気軽に話あったことから始まりました。

目的を絞って結成した団体です。いわゆる団体代表を集めた利用団体連絡協議会に義務的に

「十人でも五人でもいいからやってみよう」ということで、参加者を募ったところ、すぐに三十人ほどが集まり会が結成さ

この指止まれ

募集

松会



公民館友の会は、公民館が好きな人、公民館を利用している皆さんが作った、親睦を深める活動をする団体です。いつでも、どこでも、県内外の人でも入会できます。

友の会は公民館の発展も促します。みんなの力で、素晴らしい公民館作りをしませんか?

パーキング一泊公民館利用、1泊旅行、ボランティア活動などを楽しく行なっています。

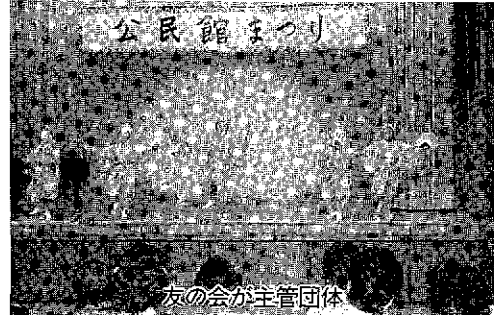
年会費1000円を松会館事務室に申し込んで下さい。

※友の会専用の水墨画カレンダーが買えます

人と人を結ぶ

入会方法

海上町中央公民館友の会



友の会が主管団体

れました。役員も決まり、事務局も会員の中から選出。公民館は団体の事務局は引き受けません(全ての団体が自主的に活動し、職員は困った時の相談相手つかえ棒です)から、「友の会」も当然同様です。

(3) 積極的な事業参加
「友の会」は年会費千円を納めれば誰でも(町外者でも)会員になります。

旅行もあれば、公民館の草取りや障子張り、留守番?までやっています。

「公民館まつり」の主管団体でもあり、公民館十周年祝賀会(平成二年度)を手づくりで開催するプロモーターになったり、千葉県公民館研究大会の会場でお昼のトン汁サービスをし

てみたり...活動は多方面にわたっています。

特に、福祉施設へのボランティア活動へと活動が広がるとともに会員も増え、現在約百五十人。年齢も二十代から七十代までと幅が広い。様々の講師も特別会員に加わり、交流の輪もどんどん広がっています。

友の会の活動について人から尋ねられることがあります。「友の会の活動は大変なようですが、会員の特典は?」と。「いつでも事務室でお茶が飲めます。」と答えます。

意外にこのキャッチフレーズが受けられます。このこと以外には、水墨画グループを中心に毎年作成する「水墨画カレンダー」(月めくり)が会員の領収書がわりに配布されるだけです。

四、誰のための公民館

友の会には、職員も一会員として参加しています。学校にPTAがあるように、いやもっと強力に公民館を支援し、PRしてくれれます。

公民館に届かなかった住民の声をダイレクトに聞かせてくれます。また、公民館のことを、広報よりうまく伝えてもくれます。そんな役割さえしてくれるのが友の会です。

までは見知らぬ人同志だったのに、一生付き合える仲間(集団)ができたとしたら、これこそ「公民館は必要」な存在になると思えます。「公民館は一部の人のものではない」というのが公民館の「常連」に向けられた言葉です。しかし、反対に、その一部の人達が触媒となって、公民館への「集人力」になり、より広範囲の活動が期待できるとしたら...つまり、公民館が一部の人のものでないための活動を「常連」としての友の会が機能しているのです。

五、この指止まれ!

当公民館では、団体だけを相手にするのはなく、いつでも、誰でもが、趣味や教養を目的にしながら気軽に輪の中へスルリと入り込めるように「この指止まれ!」と手を出しています。

で、止まった人をどうするか、と公民館職員が頭を悩ますことはありません。会員の中には職員よりユニークな発想や柔軟な考えを持った人がたくさんいます。

私も職員は「利用者に生かされる職員」になれるように気を配り、へつらわず、利用者も職員も対等な立場で、公民館を住みやすい場所にするための輪が「公民館友の会」です。

白根市新飯田地区公民館

まごころレタープレゼント

ふれあいの成果を大切に

はじめに
生涯学習の推進という観点から、学校教育と社会教育の連携を図るということは重要なことである。そして、このことは小学校や高校と公民館との連携事業としては比較的進められるものの、中学校(生)対象の事業はなかなか困難な点が多い。

新飯田地区の概要

白根市の南東部に位置し、三条・燕・加茂各市の接点の地であり、地域内を国道八号線が通る農工商混在の地域である。

また、同地域は果樹地帯としても名があり、夏から秋にかけては桃・ブドウ・梨がたわわに実るなど季節を視覚でとらえることが出来るすばらしい地域である。

人口は約二、〇〇〇人、世帯数は五〇〇戸弱で小学校一校(児童数約二〇〇人)、中学校一校(生徒数約一〇〇人)と市内でも小規模地域であるが、住民のまとまりは最高と言えよう。事業の内容とその進め方

話の発端は、小学生を取り巻く事業は各地で実施されているが、中学生を対象とした事業が少ないのではないかと話が運営審議会の中から提起された。幸い同校は県のボランティア校に指定され、そのクラブも出来、市外へ感問に出かける程の活動をしていることに着目した。また、当時の校長さん(地



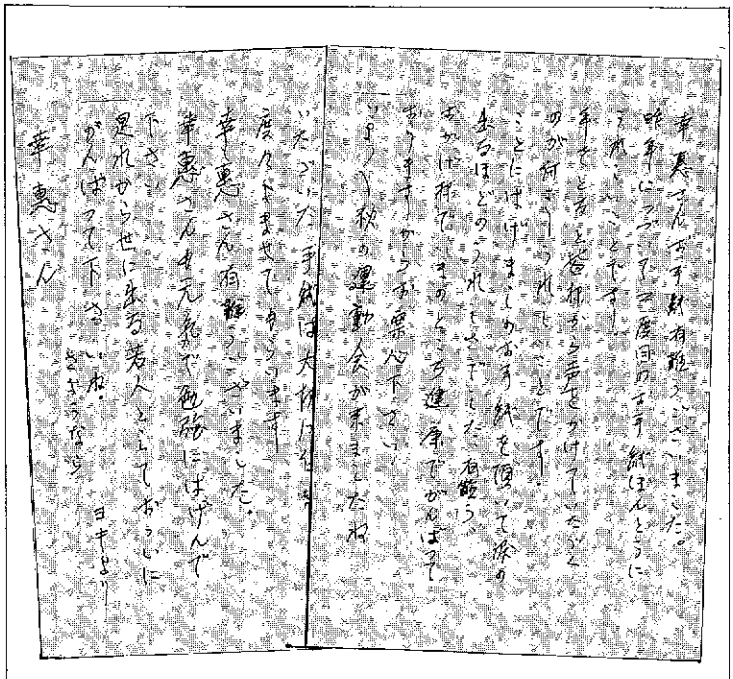
区館の運営委員)から、地区と中学生が有機的に結びつく事業を計画してはどうかと一案が示されたのがこの事業である。

その後、学校では生徒会が中心となり、レタープレゼント事業について何回かの打ち合わせをしたり、手紙の書き方等について担任の先生から指導をしていただいた。対象者の抽出は公民館がまかるなどして準備万端整えた。

そして実施日は九月十四日(敬老の日の前日)下校時と定め、自宅附近に対象者がいる場合はその生徒が手紙を書いて直接渡すこととし、約二〇〇名のお年寄り(七〇歳以上)へ、中学生の暖かい「まごころ」が届けられた。

中学生になると、クラブ活動や受験勉強などで地域とのコミュニケーションが不足がちになる。まして公民館活動への参加は期待薄であったが、この事業を通じて思いもなかったお年寄りからの礼状をいただいたり、まち中や路上で遭っても気軽に声をかけられるようになったりするなど収穫は予想をはるかに上回ったものがあつた。

また、お年寄りも身内がいなくても中学校の運動会や文化祭行事へ行きやすくなったと評判も上々。手紙一通が目に見える



おわりに
生涯学習の推進が叫ばれている今日、自己啓発はもちろん教育機関とりわけ公民館に対する期待はますます大きくなっている。その中で、特に成人期、実年期への基礎づくりにある青少年対象の事業は、今後もより一層重要であると思われる。

大人になってから生涯学習を唱える以上に、青少年期からの積み重ねが、生涯学習推進の原動力となるのではないだろうか。
親と子、祖父母と孫がさまざまな体験の中から自己形成を確立し、地域連帯のために心と心のふれあいを育てていくことが、これからの公民館活動に欠かせないものとなってくるにちがいないと感じた。
(白根市中央公民館 滝澤尚道 記)

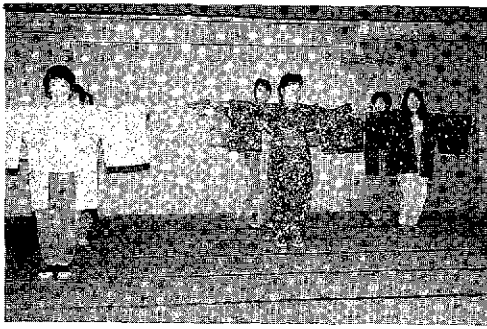
サークル交流

古えの心を今に

柏崎市「綾子舞サークル」

柏崎市鶴川地区には、今から約五〇年前に上杉房能の奥方綾子の方が地区の人々に教えたといわれる国の重要無形民俗文化財「綾子舞」が地区の郷土芸能として伝えられています。

しかし、昨今、地区の人口減少によって綾子舞の伝承が危ぶまれていることから、鶴川公民館では婦人を中心とした綾子舞学習サークルが誕生し、郷土芸能の伝承に取り組んでいます。メンバーの中には、子供の時



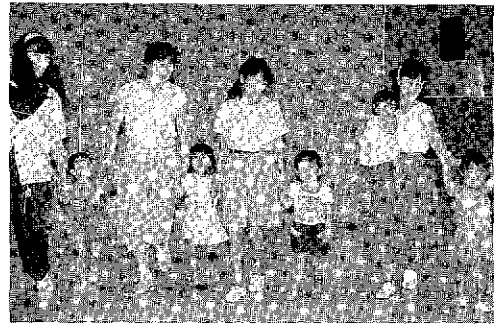
踊った人もいますが、全く初めての人もおり、三十〜五十歳代のお母さんたちが、綾子舞の中の恋の踊り「小原木踊り」を月に二回、勤務や農作業の合間を縫って、地区の伝承者の指導で練習しています。

練習はツライ時もありますが、縁あってこの地区に嫁ぎ、他地区にはない郷土の大切な芸能を学ぶことのできる幸福感にひたっています。もっと優雅に、女性らしく舞うことができるようにと、練習にも熱が入ります。(公民館指導員)

押田紀代子(記)

親子でリズムあそび 新潟市鳥屋野地区公民館 「にこにこクラブ」

ここにこクラブは、新潟市の鳥屋野地区公民館を利用している二、三歳児を持つ母親たちのグループです。むろん子どもたちも一緒に、週一回公民館のホールに集っては、体操やリズム遊びをしている仲間です。子どもたちが喜ぶのはお母さんのトンネルくぐりです。はじめの頃は、自分の母親のトンネルだけしかくぐれなかったの



に、慣れるにつれて、友だちと一緒に、よそのお母さんのトンネルを平気でくぐれるようになるのです。それも長いトンネルをぐんぐんくぐることができるようになります。他に、親子の遊びには、「おんぶ飛行機」「ベープサート」「おゆうぎ」などを好みを輝かせて動きまわります。

こんなふうに、ほとんどが子どもたちの遊び相手になることが中心ですが、子どもの敏捷性や社会性を育てるための若い親たちの子育ての学習を続けているグループなんです。

週一回の集りですが、とても楽しく待ちどおしいグループです。(浅野ミヨ(記))

燕市中央公民館主任 大岩 和子さん(76歳)

この道十九年の前任者の後任として福祉事務所から抜擢。本人は、婦人教育・家庭教育・成人教育の主任を務める他、地区館一館を担当している。



以前から社会福祉活動にも積極的に参加し、手話サークル、詩吟等の趣味も多才である。先日の文化協会合同発表会にも詩吟に出場、桂舟の号を持つ。ナレーションも広い館内

に響きわたり、雰囲気大いに盛り上げていた。小柄な割に、フアイト満々で年齢を感じさせない。先日の十六ミリ映写機操作技術講習会にも進んで受講するなど、徐々に社会教育職員としての教養を身につけつつある。

行動範囲が広いことから、市民との交流も広く、信頼も厚い。婦人層との交流についても、今後の公民館活動の中核となることが期待される。(燕市中央公民館 山田政雄(記))

素顔 拝見

五泉市公民館次長 川上 勇氏(47歳)

この春、四月一日付けで主幹から次長に昇格、昇任し、現在公民館の顔として大活躍中であります。



月並みな表現になりますが、川上次長こそまさに公民館のために生まれて来たような人です。

やさしく思いやりがあり面倒みは最高で、職場はもちろん広く市民から親われています。又、地元では区長やPTA会長を務め、家庭でも一男二女のやさしいパパで、毎朝高校生の

に響きわたり、雰囲気大いに盛り上げていた。小柄な割に、フアイト満々で年齢を感じさせない。先日の十六ミリ映写機操作技術講習会にも進んで受講するなど、徐々に社会教育職員としての教養を身につけつつある。

これからも、やさしさと親切心で市民の生涯学習のために一層の活躍を望んでいます。本人いわく「社会は個人の完遂によって運営されている」と。すばらしいスタッフとともに事業の進展に務めてほしいものです。(五泉市公民館 齊藤由一(記))

県事業紹介

地域社会学入門

県生涯学習推進課

日本人がそれぞれの地域に根をおろして生きていく事実を分析的・歴史的にとらえた「地域社会学」(加藤秀俊)放送大学教授)のビデオ教材を使って、

新潟大学文学部助教授 榎谷圭司 佐藤康行



新潟大学の先生が解説する講座です。

講師 新潟大学教養学部講師

- (1) 地域社会学への招待 8月24日
- (2) 農耕と定着 8月31日
- (3) 地域と血縁 9月7日
- (4) 土地の神様 9月14日
- (5) 村・町・都市 9月21日
- (6) 地域と宗教 9月28日
- (7) 地域と水域 10月5日
- (8) 現代の農耕社会 10月12日
- (9) 現代の漁村社会 10月19日
- (10) 現代の山村社会 10月26日
- (11) 開拓地の地域社会 11月2日
- (12) 都市の近隣社会 11月9日
- (13) 歴史の中の地域社会 11月16日
- (14) 未来への挑戦 11月30日
- (15) 主張する地域社会 12月7日

あなたの生涯学習の友に

ビデオ利用学習講座受講生募集 『地域社会学入門』

- 期間 8月24日(土)~12月7日(土)15回
 - 会場 新潟市 万代市民会館
 - 対象 18歳以上の男女50名
 - 申込み 締め切り日 8月17日(土)まで
- 往復はがきで☎950新潟市新光町4-1
県生涯学習推進課(☎285-5511 内線3894)

受講料は無料、教材図書等は各自購入。

まちからあちらから

市町村の隠れた名所紹介のコーナーです。

【新発田市の巻】 湯の平温泉(表紙写真説明) 新発田市赤谷口登山口途中にあるV字型渓谷にある露天風呂です。

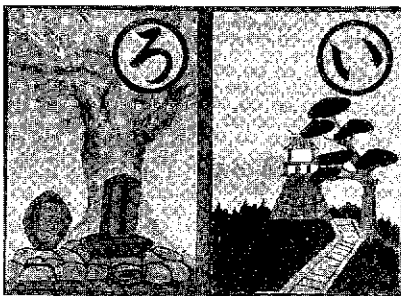
大井田いろはかるた始末記

十日町中条町公民館大井田分館

十日町市公民館から、冊子「大井田いろはかるた始末記」のご恵贈を受けた。

十日町市中条町公民館の大井田分館の労作になるもので、地区民総参加による公民館事業として取り組んだ「いろはかるた」ができるまでの詳細を記録したもの。B5判68頁に及んでいる。

自分たちの住む地域の文化の伝承と創造を狙った「いろはかるたづくり」は、大井田分館のみでなく、県内のいくつかの公民館で取り組んでおり、けっして珍らしいものではないが分館の事業であること、三世代の住民が協力しあって知恵と技と努力を出し合っていること、分館OBの積極的な協力などなど、地区民絡ぐるみで作成したとこ



② 大郎塚 今も見守る 神宮寺 ① いの一番は大井田城

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 木下 清一
編集人 事務局長 上村 捨二郎
【定価1部 120円 年共・年極 1,440円】

◆県公民館四十年誌がようやくあがる運びとなりました。四月末には手元に届くつもりでしたが、市町村公民館の現状を紹介する原稿が想像以上に手間どったことが遅くなった原因です。加えて、関プロ公研集會事務と重なったことも見逃せません。衷心からお詫びを申し上げます。

四十一年の公民館の歩みを知る記念誌として、また、これから事業計画へのガイドブックとして、利用価値は大きいものがあると自負しています。

ぜひとも多くの方から購入していただきたいと切望しています。(上村 記)